

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公表番号】特表2004-508415(P2004-508415A)

【公表日】平成16年3月18日(2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-011

【出願番号】特願2002-526415(P2002-526415)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/08	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/14	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	41/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	7/08	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	41/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 0 7 K	16/28	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 被験体において癌を処置するための医薬の製造のための、抗Fn14抗体であるFn14アゴニストの使用。

【請求項2】 前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項3】 前記抗体が、ヒト定常ドメインを含むキメラ抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項4】 前記抗体がヒト化抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項5】 前記抗体がヒト抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項6】 前記抗体が靈長類化抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項7】 前記抗体が多価抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項8】 前記抗体がIgGである、請求項1に記載の使用。

【請求項9】 前記抗体がIgMである、請求項1に記載の使用。

【請求項10】 前記抗体が、前記被験体の体重1kgにつき10μg～300μgの用量で投与されることを特徴とする、請求項1に記載の使用。

【請求項11】 前記抗体が、非経口経路、静脈内経路、皮下経路、腹腔内経路、または嚢内経路を経由して投与されることを特徴とする、請求項1に記載の使用。

【請求項12】 前記抗体が、放射線または化学療法と組み合わせて投与されるモノクローナル抗体である、請求項1に記載の使用。

【請求項13】 被験体において癌を処置するための医薬であって、抗Fn14抗体であるFn14アゴニストを含む、医薬。

【請求項14】 前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項13に記載の医薬。

【請求項15】 前記抗体が、ヒト定常ドメインを含むキメラ抗体である、請求項13に記載の医薬。

【請求項16】 前記抗体がヒト化抗体である、請求項13に記載の医薬。

【請求項17】 前記抗体がヒト抗体である、請求項13に記載の医薬。

【請求項18】 前記抗体が靈長類化抗体である、請求項13に記載の医薬。

【請求項19】 前記抗体が多価抗体である、請求項13に記載の医薬。

【請求項20】 前記抗体がIgGである、請求項13に記載の医薬。

【請求項21】 前記抗体がIgMである、請求項13に記載の医薬。

【請求項22】 前記抗体が、前記被験体の体重1kgにつき10μg～300μgの用量で投与されることを特徴とする、請求項13に記載の医薬。

【請求項23】 前記抗体が、非経口経路、静脈内経路、皮下経路、腹腔内経路、または嚢内経路を経由して投与されることを特徴とする、請求項13に記載の医薬。

【請求項24】 前記抗体が、放射線または化学療法と組み合わせて投与されるモノクローナル抗体である、請求項13に記載の医薬。